

【議事概要】令和7年度第1回札幌市せき柱側わん症検診検討会

1 会議の概要

名称：令和7年度第1回札幌市せき柱側わん症検診検討会

日時：2025年6月30日（月）午後6時30分

会場：STV北2条ビル3階 会議室C

出席者：委員11名全員が出席

2 挨拶（佐藤学校教育部長）

学校における健康診断と、せき柱側わん症の早期発見の重要性等についてコメント

3 議題

(1) 委員長・副委員長の選出

伊東委員が委員長に選出され、伊東委員長が岡村委員を副委員長に指名

(2) せき柱側わん症の基礎知識と国等の動向

（説明者：川西保健係長）

- ・せき柱側わん症の定義、発生頻度、治療方法について説明
- ・国の動向として、早期発見と支援のための環境整備が進められている旨を説明

(3) せき柱側わん症検診の現状と課題

（説明者：山角保健指導担当係長）

- ・札幌市における健康診断の実施状況、プライバシーや心情への配慮、検診のデジタル化の推進について報告
- ・機器検診のメリットとして、正確で均質な検査の提供、デジタルデータによる経年比較、早期発見・治療による負担軽減が挙げられる旨を説明
- ・以下の2点について、各委員から下記4のとおりコメントがあった。

①札幌市におけるせき柱側わん症検診の評価と今後の方向性

②機器検査の必要性

(4) 今後のスケジュール

- ・次回の検討会は7月以降に開催予定。
- ・機器検診の具体的な導入方法や実施時期について議論する予定

4 主な意見

- ・学校医や養護教諭からは、限られた時間の中での検診の難しさや、プライバシーへの配慮の必要性についての意見が述べられた。
- ・整形外科医からは、前屈テストの精度や、機器検診の導入の必要性が強調された。
- ・伊東委員長からは、機器検診の導入に伴う費用や、機器の保守点検の重要性についての意見が述べられた。